

事務事業評価表

○基礎情報

課名		地域保健課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外		総従事者	時間外勤務時間		
施策目標	24	医療の安全を確保し、健康で安心した生活を持続する	高瀬 達也	管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				3 人	15 人	1 人	5 人	1 人	18.11 人	3,012 時間	16.7 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
地域の診療所をかかりつけ医として持っている市民の割合	36.30%	40.0%以上	36.3%	-	-
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	医療供給体制の強化
2	地域医療の充実
3	健康生活の支援
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	保健衛生表彰事務	3	0.23	一般	27,000 20,903	30,000 21,110	公衆衛生の推進に寄与した個人・団体等に対し、具体的な評価として顕彰を行ったが、新型コロナウィルスの蔓延防止のため式典は中止した。			表彰式の開催	1回	未実施	A	変動なし		
2	献血推進事業	3	0.22	一般	2,160 2,160	2,000 0	献血可能な方に対し、献血協力を呼びかけた。また、献血協力事業所及び協力団体へ表彰を実施することで、献血協力への功績の顕彰、献血運動の推進が図られた。			献血の実施回数	90回	87回	S	変動なし		
3	医療関係団体補助事業	2	0.08	一般	2,556,000 2,526,000	2,556,000 2,486,000	三師会等保健医療協力団体に対し補助金を交付し、医療団体等による市民の健康増進及び医療の充実が図られた。			医療関係団体への補助金交付の期限	交付決定通知後1か月以内	交付決定通知後1か月以内	S	変動なし		
4	湘南看護専門学校・湘南ナース総合支援センター補助事業	2	0.12	一般	13,900,000 13,900,000	13,900,000 13,900,000	湘南看護専門学校に対し補助金を交付し、圏域における医療の充実及び看護師の不足の解消が図られた。			補助金交付の期限	運営費の交付が申請から6ヶ月後整備費の交付が10月	運営費は交付決定通知後1か月以内に、整備費は11月に交付	S	変動なし		
5	救急医療機関外国籍市民対策事業	2	0.03	一般	1,000,000 0	500,000 0	外国籍市民の救急医療の治療費未払いによる回収不能相当額を補助する事業だが、未払いの実績がなかった。			補助金の交付期限	申請から1ヶ月以内	該当事案なしのため未執行(申請なし)	実績なし	変動なし		

6	休日・夜間急患センター事業	2	0.14	一般	108,471,000 ----- 108,286,022	87,677,000 ----- 86,706,825	平日夜間や休日等における初期救急診療を実施することにより、住民の医療不安を解消した。	休日・夜間急患センターの運営日数	366日	366日	S	変動なし		
7	地域医療センター再整備事業	2	0.00	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	(平成30年度に再整備が完了し、平成31年4月供用開始。)	施設整備	—		実績なし	-		
8	かかりつけ医制度の推進	2	0.15	一般	367,000 ----- 196,960	128,000 ----- 127,600	国民健康保険被保険者への周知・啓発を実施し、住民のかかりつけ医に係る意識の向上が図られた。	関係団体との協議	広報内容の協議・調整 年2回	年2回実施	S	減少		
9	産科医師分娩手当補助事業	2	0.10	一般	3,372,000 ----- 2,989,000	3,376,000 ----- 2,948,000	分娩施設等において、分娩手当等に要する経費に対し補助金を交付し、産科医師等の処遇の改善を通じて産科医師等の確保が図られた。	補助金交付の期限	補助金の額の確定 後1か月以内に交付	補助金の額の確定 後1か月以内に交付	S	変動なし		
10	地域包括ケアシステム推進支援事業	2	0.25	一般	120,000 ----- 0	120,000 ----- 0	地域包括ケアに係る会議を開催し、関係機関及び団体の連携の強化、情報交換や課題の把握検討を行うことで、住民の保健・医療・福祉の向上を図ることを目的に開催。なお、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面会議にて実施した。	連絡会議の開催回数	3回	3回(R3年3月に書面会議にて開催のため、報償費の執行なし)	S	変動なし		
11	地域・職域連携推進事業	3	0.64	一般	40,000 ----- 30,000	30,000 ----- 0	働き盛り世代が生活習慣病対策を生活に取り入れ、健康に働くために、地域保健と職域保健が連携して対策等を検討する目的で会議開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	会議開催回数	1回	0回	Z	減少		
12	管内母子保健施策の推進	3	0.58	一般	87,500 ----- 87,500	65,000 ----- 45,000	保健所管内の母子保健施策を効果的に推進していくための会議及び部会は令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。なお、管内母子保健担当者との連絡会は開催することができ、関係各課との共通認識を図ることができた。	会議開催回数	3回	0回	A	減少		
13	養育支援事業	3	0.53	一般	87,100 ----- 87,100	60,000 ----- 0	長期に療養を必要とする児及びその家族が、地域で健やかな生活を送れるよう療育環境を整えることを目的に会議開催を検討したが令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。保護者等の交流会はオンライン開催も含め2回開催した。人工呼吸器装着児に対する災害時支援の体制整備を継続して進めることができた。	会議開催回数	3回	0回	A	減少		
14	保健指導・健康相談事業	3	0.32	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	教員や小・中・高校生向けに依頼を受け、健康教育を行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施していない。	保健指導・健康相談の実施	随時実施	0回	Z	減少		
15	管内歯科保健施策の推進	3	0.45	一般	9,158,000 ----- 8,009,360	6,320,000 ----- 6,237,637	歯科保健の現状・課題について、関係機関・団体と情報共有と協議を行い管内の歯科保健の推進を図ることを目的に開催。部会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたが会議は書面にて開催した。	会議・部会の開催回数	2回	1回	A	減少		
16	重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業・障害児者等歯科保健事業	3	0.48	一般	108,000 ----- 107,520	136,080 ----- 28,350	重度のう蝕予防のために幼児と保護者に対して保健指導・検診・予防処置を行った。また、障害児者には食べる力を育てるための支援を実施した。	3歳6か月児健康診査でう蝕のある者のうち重度の者の割合	24.0%	26.7%	A	減少		

17	フッ化物洗口普及啓発事業	3	0.17	一般	0	0	う蝕予防処置効果の高いフッ化物洗口について普及啓発を図った。なお、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業を縮小して開催した。	情報提供数	200件	77件	A	減少		
18	8020運動推進員育成事業	3	0.34	一般	30,000	30,000	地域で歯及び口腔の健康づくりを推進する8020運動推進員に対し、令和2年度は、資料配布型の研修を行い推進員のモチベーションの維持及び資質の向上を図った。	8020運動推進員活動支援数	50人	51人	S	変動なし		
19	在宅歯科衛生士活動支援事業	3	0.25	一般	10,000	10,000	市町で活動する歯科衛生士を対象に、研修会や連絡会を開催し、地域の歯科保健を総合的に推進した。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインによる連絡会を開催し情報共有等を図った。	連絡会・研修会の開催	7回	4回	A	減少		
20	地域食生活対策推進協議会	3	0.79	一般	70,000	70,000	病院や福祉施設等の1日3食給食提供を行う施設が、災害発生時にも継続して栄養が確保された給食提供が行えるよう、各施設の災害対応マニュアルの充実を図るため、災害対策の現状調査を踏まえて、マニュアル作成の手引きの主要な項目の協議を行った。	協議会の開催	1回	1回(3/18)	S	変動なし		
21	食生活改善推進団体等の育成及び支援事業	3	0.23	一般	30,000	30,000	食生活を通した健康づくりのボランティア団体「茅波会」に対し、役員会での助言や自己学習用の資料作成・配布を行い、活動が円滑に行われるとともに、会員の資質向上が図られた。	食生活改善推進団体への支援回数	12回	12回	S	減少		
22	地域保健活動推進事業	3	0.03	一般	0	0	食育を推進する市町村及び関係機関、団体等の栄養士等を対象とした研修会は実施できなかったが、保健所内において書面会議を行い、地域住民の健康づくりを総合的に推進した。	研修会の開催数	1回	0回	実績なし	変動なし		
23	特定不妊治療費助成事業	3	0.31	一般	16,455,000	15,813,000	特定不妊治療を受けた夫婦に対し、その治療費の一部を助成したことにより、経済的負担の軽減が図られた。	特定不妊治療費助成申請件数	170件	127件	A	変動なし		
24	不育症治療費助成事業	3	0.13	一般	300,000	300,000	不育症治療を受けた夫婦に対し、その治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図る事業だが、申請の実績がなかった。	助成件数/年	2件	0件	実績なし	変動なし		
25	在宅医療介護連携推進事業	2	2.01	特別	0	0	関係機関や団体が参加する会議や研修の開催、住民への周知啓発を行うことにより、住民が望む場所で医療や介護のサービスを受けることのできる体制の構築が図られた。なお、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止または、最小限の開催とした。	多職種連携研修会及び部会、検討グループの開催回数	22回	7回	A	減少		
26	受動喫煙対策促進事業	3	0.42	一般	144,000	40,000	事業者を対象に健康増進法の技術的基準に関する、個別の相談指導を実施することにより、望まない受動喫煙に遭う機会の削減が図られた。	事業者向け相談指導未対応件数	0件	0件	S	変動なし		
合計					R2予算(円)	131,193,080								
					R2決算(円)	124,868,617								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
地域保健課の令和2年度における事務事業数は50事業あり、うち政策的事業は26事業である。政策的事業の評価結果は、「実績なし」が4事業あるものの、「S」11事業、「A」9事業となり、大半の事業で成果を出すことができた。 なお、新型コロナウイルスの対応のため研修会等の参集する事業について蔓延防止のため予定通りに実施できなかった。 職員の時間外は、総時間で3,012時間、一人当たりで16.7時間となっている。内訳は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の応援に関するものは、時間数で381時間(一人当たり2.1時間)、本来業務に関するものは、2,631時間(一人当たり14.6時間)である。本来業務に関するものについては、昨年度に比較し1,555時間減少しているが、これは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、研修等の人が参集する事業について中止したことによる結果であり、今年度については、例年並みに戻る見込みである。	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
	—	

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	—	令和2年度については、新型コロナウイルスの対応として研修会等の事業が中止となり、事業の進捗が図れなかったため、今後事業の再開後に必要性を再度見極めるため